

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

検証項目				指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証		
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況							
① 管理・運営業務の履行状況	・協定書と仕様書に従い、適正に業務を履行することができた。			評価	『評価の理由』		
				A	協定書の仕様書に基づき、施設・設備の管理、保守点検及び施設利用の調整について、適正に実施されていた。		
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	・展望台が始まって二十数年になり、一部照明器具の不具合が出始めている。様々な団体が1階展示室を利用するが予想される中、山形県の省エネ対策と調整しながら、利用者にとってより使いやすい展望台にしていきたい。			『課題等の原因分析』			
				施設の維持管理に必要な消耗品については、適宜指定管理料から支出し更新されたい。			
課題、問題点への今後の対応	県と指定管理者で情報共有のうえ、来館者満足度向上に努めていく。						
2 利用者からの要望等への対応							
① 意見・要望等及びその対応状況	・アンケート用紙による意見・要望から、課題となっていた7階展望台の空調が、令和7年3月改善された。通常時、展望台からの酒田港のガイドがあれば良いという意見が今年度見受けられた。			評価	『評価の理由』		
				A	アンケート用紙を設置し、積極的に来館者からの意見・要望を聞き取り、運営に有効活用している。		
意見・要望等への今後の対応	指定管理者で応募している令和7年やまがた社会貢献基金を活用した音声ガイド事業に期待したい。						
3 指定管理者制度活用の効果							
① サービスの向上	・展望台の見学予約があった団体へのガイドを行った。小学校対応として見学後質問票を配布し、結果を小学校へフィードバックした。小学校先生方より「丁寧な対応」と高評価をいただいた。(多数) ・SNSへの積極的な活用。 ・クルーズ寄港時の開館、閉館対応。 ・予約見学時の早期開館、休日開館対応。 効果：見学リピート率が増加した。小学生に対するきめ細かい説明を行うことで、酒田港に関する理解を広めることができた。令和7年度の見学では新規参加の小学校もあり、昨年からの利用リピート率もほぼ100%となった。			評価	『評価の理由』		
				A	洋上風力発電関係事業者の見学のほか各学校での校外学習に欠かせない施設となっており、リピート利用が多く、R5年度比113%の来館者数となった。		
② 経費の節減	・4月～10月末繁忙期間の開館日を増やし、冬季の開館時期を減らして電気使用量を抑えることができた。平日の閑散時には、来館者の様子をみながら資料VTRやBGMの電源を落とす、空調を止める等、状況に応じて臨機応変に対応している。			評価	『評価の理由』		
				A	来館者数の推移を見越して柔軟な対応を行ったことで光熱費等の経費削減に務めた。		
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	・観光関係機関、港湾関連企業・地域団体と連携し、地域活性化に貢献した。 ・庄内観光コンベンション協会主催の「スタンプラリー」への参加。(令和7年度も参加決定) ・緑地公園開催イベント対応の協力。 ・つや姫ハーフマラソン事務局と港湾団体の調整。 ・山形県内へ展望台PR活動。 ・山形県内観光雑誌・パンフレット設置。 ・地域タウン誌のバックナンバー設置。 ・地域企業による酒田港見学ツアーの協働参加。(見学団体より、「非常に勉強になった。内容が充実していた」と高評価だった。)			評価	『評価の理由』		
				A	展望台としての機能だけでなく、県内各地方のパンフレットを取り寄せるなど当該施設周辺に少ない観光案内所としての機能も果たし、来館者満足度向上に寄与している。		
総合的な評価	NPO法人として各種基金に積極的に手を挙げ、自ら獲得した予算で酒田港関連のイベントを実施するなど、マンネリ化しない取組みを実施している。また、各種見学に対しても柔軟な対応で利用者数の増加や満足度向上に寄与している。						

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

(注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。